

官民境界等先行調査成果
電子納品要領

平成 29 年 4 月

国土交通省 土地・建設産業局地籍整備課

[改定履歴]

要領・基準名称	適用要領基準 ※1	備考
官民境界等先行調査成果 電子納品要領（案） 平成19年3月	先行 200704-02	平成19年3月初版発行
官民境界等先行調査成果 電子納品要領 平成25年4月	先行 201304-01	平成25年3月初版発行
〃	〃	平成25年3月 DTD バージョン番号変更 ・測量情報管理ファイル TSUR_D01.DTD ・先行調査成果管理ファイル TISK_D01.DTD
官民境界等先行調査成果 電子納品要領 平成28年4月	先行 201604-01	平成28年4月初版発行
官民境界等先行調査成果 電子納品要領 平成29年4月	先行 201704-01	平成29年4月初版発行

※1 測量情報管理項目の基礎情報「適用要領基準」項目に記入する内容

1	適用	1
2	成果品の電子化と検査（検定）	2
2.1	検符及び押印	2
2.2	電子納品成果の検定	2
3	電子媒体	3
3.1	電子媒体について	3
3.2	電子媒体に貼るラベルについて	3
4	フォルダ構成	4
4.1	全体構成	4
4.2	先行調査フォルダ構成	7
5	成果品の管理項目	10
5.1	測量情報管理項目	10
5.2	先行調査成果管理項目	14
6	ファイル形式及びファイル命名規則	16
6.1	先行調査成果ファイル形式	16
6.2	先行調査成果ファイル命名規則	17
6.3	先行調査成果ファイル	19
7	その他留意事項	29
7.1	電子納品の対象外となる成果等	29
7.2	測地系	29
付属資料1		30
1-1	測量情報管理ファイルのDTD 例	30
1-2	先行調査成果管理ファイルのDTD 例	32
付属資料2		33
2-1	測量情報管理ファイルのXML 例	33
2-2	先行調査成果管理ファイルのXML 例	37

1 適用

「官民境界等先行調査成果電子納品要領」（以下「本要領」という）は、国土調査法に基づく地籍調査のうち、「都市再生地籍調査事業」（平成 14 年 4 月 1 日付国土国第 636 号）で行う官民境界等先行調査（以下、「先行調査」という）の C、D、E'、F' I、F' II、G'、H'、FR 工程（A、B 工程は除く）から作成される成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、先行調査の成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

本要領に定めない事項については、「土木設計業務等の電子納品要領 平成 28 年 3 月」及び「測量成果電子納品要領 平成 28 年 3 月」に従うこと。ただし、左記要領が改定された際は、最新の要領に従うこと。

本要領において便宜的名称として使用する、C、D、E'、F' I、F' II、G'、H'、FR 工程について、C 工程は地籍図根三角測量、D 工程は地籍図根多角測量、E' 工程は（先行筆界点調査）、F' I 工程は（細部図根測量）、F' II 工程は（先行筆界点測量及び街区調査図原図作成）、G' 工程は（街区面積計算）、H' 工程は（街区調査図及び街区整理簿の作成）を示すものとする。これは、通常的地籍調査における工程〔例：E 工程（一筆地調査）〕と調査の名称及び作業内容が一部分のみ実施している都合上、識別のため「'」を付している。必須の工程ではないが、地域条件等により実施される FR 工程は現況測量・復元測量を指し、現地に筆界点が明示されていない等の理由により筆界点を復元する必要がある場合に、現地の状況を把握するために実施する測量（現況測量）及び、確定図等筆界に関する資料に基づいて筆界点の復元を行う測量（復元測量）をいう。

2 成果品の電子化と検査（検定）

2.1 検符及び押印

電子納品する先行調査成果については、電磁的記録を除き点検終了後の成果品（検符・押印済み等）を電子化し、格納するものとする。

また、国土地理院に測量成果の検定機関として登録されている第三者機関（以下「第三者機関」という。）による成果検定を受けた場合は、成果検定終了後の成果品（第三者機関検符・押印済み）を電子化し、格納するものとする。

電子化された成果品は、本要領に基づき検査を行うものとする。

【解説】

先行調査成果の電子納品は、作業者が成果品を紙出力し、自己点検を鉛筆（黒色）、自社点検をペン（赤色）（第三者機関による成果検定を受けた場合は、ペン（茶色））で行った成果品を表 6-3 に示すファイル形式に電子化し、検符を要さない成果品（選点手簿、成果簿数値データ、網図等）は、表 6-3 に示すファイル形式で格納するものとする。また、押印（監督員承認印、主任技術者印等）を要する成果品（選点図、平均図、精度管理表等）については、押印された成果品を表 6-3 に示すファイル形式に電子化し、格納するものとする。

2.2 電子納品成果の検査

2.1 で受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議する。

電子化された先行調査成果品は、電子納品チェッカー等により検査を受けるものとする。

また、第三者機関による成果検定を受けた場合は、電子納品成果についても検定をうけるものとする。

3 電子媒体

3.1 電子媒体について

電子媒体は、CD-R 又は DVD-R とし、1 枚に格納することを標準とする。

ただし、発注者と協議の上、Blu-ray Disc も納品できるものとする。

3.2 電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

(1) 媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。

- 1) 業務名称（「先行調査」と明記する）
- 2) 作成年月
- 3) 発注者名
- 4) 受注者名
- 5) 何枚目/総枚数
- 6) ウィルスチェックに関する情報

- ・受注者は、納品すべき成果品が完成した時点で、ウィルスチェックを行う。
- ・ウィルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用する。
- ・最新のウィルスも検出できるように、ウィルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。
- ・電子媒体の表面には、「使用したウィルス対策ソフト名」、「ウィルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名」、「チェック年月日（西暦表示）」を明記する。

7) フォーマット形式

(2) 媒体を入れるプラスチックケースのラベルの背表紙には、以下のような情報を横書きで明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月



4 フォルダ構成

4.1 全体構成

電子的手段により引き渡される先行調査の成果品は「図 4-1 フォルダ全体構成図」に示すフォルダ構成とする。

測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に「TISEKI」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD も合わせて格納する。

「TISEKI」サブフォルダの下には、「測量記録」、「測量成果」、「その他」を格納するため「WORK」、「DATA」、「OTHR」のサブフォルダを置く。また先行調査の成果等及び、先行調査成果管理ファイルを格納し、管理ファイルを規定する DTD も合わせて格納する。

【留意事項】

- ① フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- ② 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。
- ③ 管理ファイルのスタイルシートは任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。

【解説】

(1) 電子媒体ルートフォルダ

1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートフォルダに格納する「業務管理ファイル」は「業務管理項目」（業務の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_D.XML」とする。

「業務管理項目」の詳細は、「土木設計業務等の電子納品要領 平成 28 年 3 月」に示すとおりである。ただし、上記要領が改訂された際は、最新の要領に従うこと。業務管理ファイルを規定する DTD「TIND_Dnn.DTD」及び XSL「TIND_Dnn.XSL」（nn は版情報を表す）も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。版情報は、「土木設計業務等の電子納品要領 平成 28 年 3 月」に示すとおりである。ただし、上記要領が改訂された際は、最新の要領に従うこと。

(2) SURVEY フォルダ（測量データフォルダ）

1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」（測量情報の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。測量情報管理ファイルを規定する DTD「TSUR_Dnn.DTD」及び XSL「TSUR_Dnn.XSL」（nn は版情報を表す）も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

「測量情報管理項目」の詳細は、「5.1 測量情報管理項目」に示すとおりである。

(3) TISEKI サブフォルダ（先行調査サブフォルダ）

1) 先行調査成果管理ファイル

「TISEKI」フォルダに格納する「先行調査成果管理ファイル」は、「先行調査成果管理項目」（先行調査成果の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_TSK.XML」とする。測量情報管理ファイルを規定する DTD「TISK_Dnn.DTD」及び XSL「TISK_Dnn.XSL」（nn は版情報を表す）

も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「先行調査成果管理項目」の詳細は、「5.2 先行調査成果管理項目」に示すとおりである。

2) 測量記録サブフォルダ (WORK)

先行調査の作業工程で成果品を作成する過程の記録を格納する。本フォルダ以下には実施した作業工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 4-2 の先行調査フォルダに記す。

3) 測量成果サブフォルダ (DATA)

先行調査の作業工程の最終成果品（次の工程に引き渡すもの）を格納する。本フォルダ以下には実施した作業工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 4-2 の先行調査フォルダに記す。

4) その他データサブフォルダ (OTHR)

先行調査における各種証明書、説明書等を格納する。

(4) DOC サブフォルダ (ドキュメントサブフォルダ)

「DOC」サブフォルダには、「ドキュメントファイル」を格納する。表 4-1 に示す当該測量作業のドキュメントを、「DOC」サブフォルダ直下に格納する。「DOC」サブフォルダは、細分しない。

これらのファイル保存形式及びファイル名称は表 4-1 に従うものとする。

表 4-1 DOC サブフォルダ内の成果

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
特記仕様書	PDF	SPECS	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
協議書	PDF	MEETS	複数協議書ファイルが存在する場合、連番（3 桁）をファイル名称の後に付加する。

例えば協議書が 10 回分ある場合、ファイル名称は「MEETS001. PDF、MEETS002. PDF、MEETS003. PDF・・・MEETS010. PDF」となる。

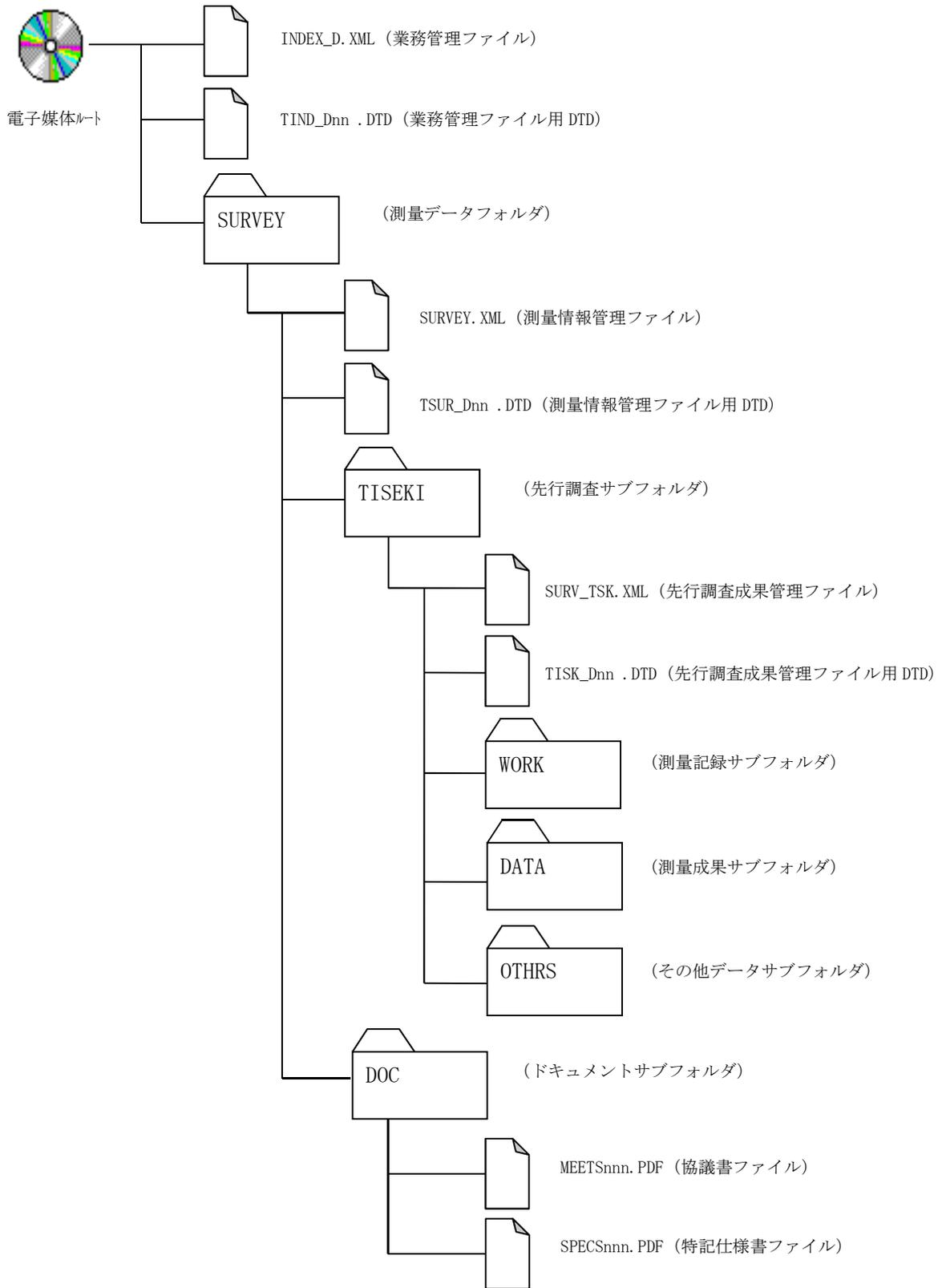


図 4-1 フォルダ全体構成図

4.2 先行調査フォルダ構成

先行調査の成果を収納するには次の「WORK」「DATA」「OTHR」のサブフォルダを置き、各々の成果等を格納する。

- ・「WORK」サブフォルダには先行調査の記録を格納する。
- ・「DATA」サブフォルダには先行調査の成果を格納する。
- ・「OTHR」サブフォルダには測量機器検定証明書、ファイル説明書等のデータを格納する。

さらに、「WORK」「DATA」サブフォルダは、その下に実施した作業工程に応じて、先行調査細区分を示すサブフォルダを設け、成果を格納する。先行調査細区分フォルダの名称は表 4-2 に示す名称とする。

【解説】

測量成果格納フォルダ（「TISEKI」）の下に、先行調査の作業工程で成果品を作成する過程の記録（精度管理表等）と、先行調査の作業工程の最終成果品（成果表等）とに分類して格納するためのサブフォルダを作成し、各々の下に当該成果を格納する。

「WORK」「DATA」においては、各々、測量地区（地番区域ではない）および、精度区分に応じて成果等を整理する必要がある場合については、それぞれの細区分サブフォルダを設け当該成果を格納するものとする。これらのサブフォルダは、それぞれ表 4-2 に示す名称とする。なお、地籍調査成果がないサブフォルダは省略することができるものとする。

表 4-2

測量区分	成果区分	先行調査細区分	サブフォルダ名
先行調査 <TISEKI>	測量記録 <WORK>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		地籍図根多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		先行筆界点調査 <EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		細部図根測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		先行筆界点測量及び 街区調査図原図の作成 <F2PROC_*>	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
		街区面積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /WORK/GPROC_*
		街区調査図及び 街区整理簿の作成 <HPROC_*>	/TISEKI /WORK/HPROC_*
		現況測量・復元測量 <FRPROC_*>	/TISEKI /WORK/FRPROC_*
	測量成果	地籍図根三角測量	/TISEKI

	<DATA>	<CPROC_*>	/DATA/CPROC_*
		地籍図根多角測量	/TISEKI
		<DPROC_*>	/DATA/DPROC_*
		先行筆界点調査	/TISEKI
		<EPROC_*>	/DATA/EPROC_*
		細部図根測量	/TISEKI
		<F1PROC_*>	/DATA/F1PROC_*
		先行筆界点測量及び 街区調査図原図の作成	/TISEKI /DATA/F2PROC_*
	<F2PROC_*>		
街区面積測定	/TISEKI		
<GPROC_*>	/DATA/GPROC_*		
街区調査図及び 街区整理簿の作成	/TISEKI /DATA/HPROC_*		
<HPROC_*>			
現況測量・復元測量	/TISEKI		
<FRPROC_*>	/DATA/FRPROC_*		
その他データ <OTHR>		/TISEKI /OTHR	

注)「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用する。1 地区 1 精度で実施した場合は「A」を適用する。

例えば先行調査区分内で複数地区、複数精度区分の先行調査作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。

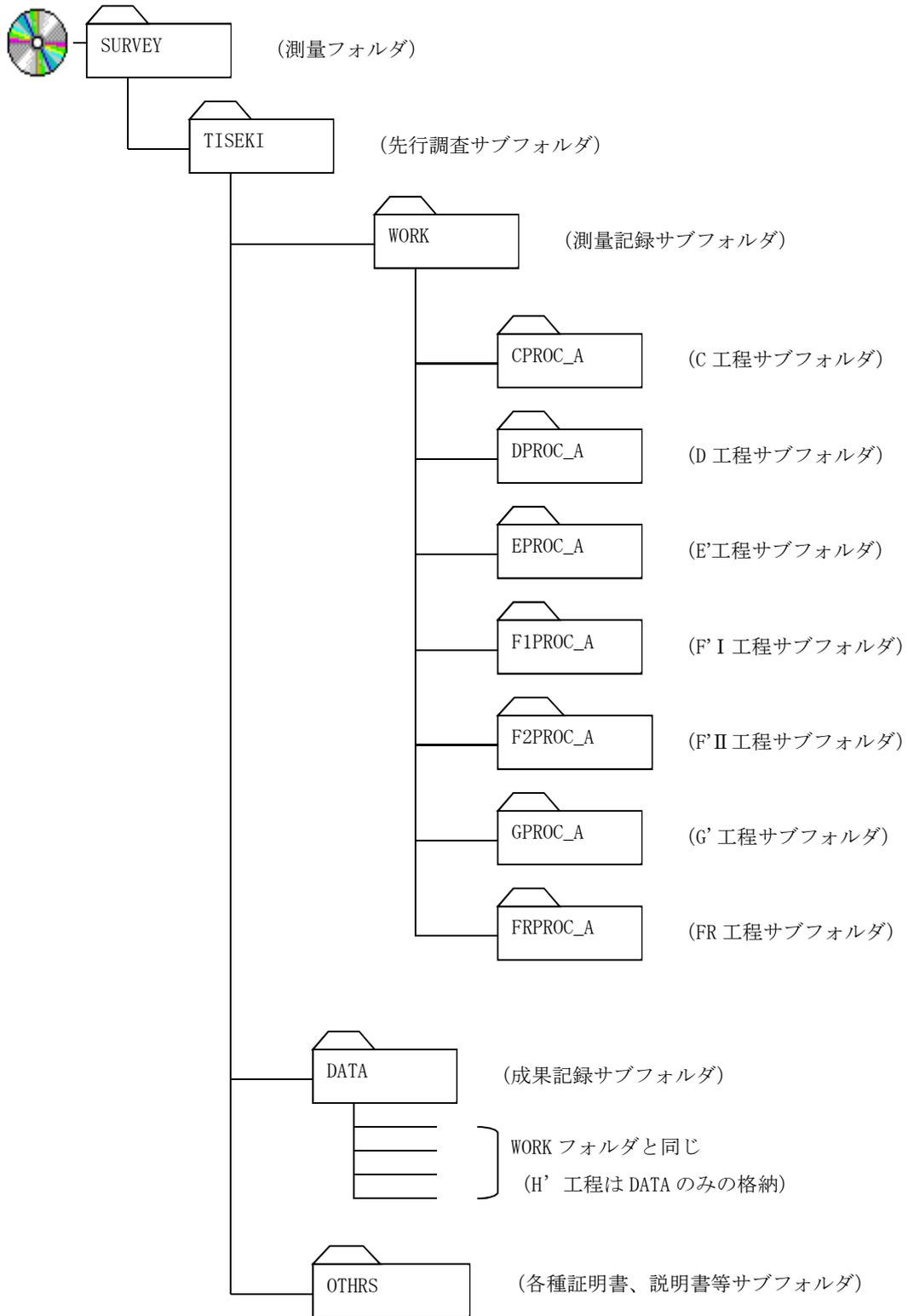


図 4-2 先行調査フォルダ構成

5 成果品の管理項目

5.1 測量情報管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル (SURVEY.XML) に記入する測量情報管理項目は、表 5-1 に示すとおりである。

表 5-1 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版 (「先行 201704-01」で固定) を記入する。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎	
	助言番号 (承認番号)	「99999999」を記入する。公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院が発行する「助言番号 (承認番号)」を記入する。	半角英数字	8	□	◎	
	製品仕様書名または作業規程名	当該測量の基となった製品仕様書名または作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎	
	第三者機関成果検定の有無	第三者機関による成果検定の実施の有無を、0 又は 1 のコードで記入する。(0 : なし、1 : あり)	半角数字	1	□	◎	
	先行調査成果格納用フォルダ名	先行調査成果を格納するフォルダ名称 (TISEKI で固定) を記入する。	半角英数字 大文字	6 固定	▲	◎	
	ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称 (DOC で固定) を記入する。	半角英数字 大文字	3 固定	▲	△	
場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2	□	◎	
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎	
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		平面直角座標系	平面直角座標系番号で記入する。	半角数字	2	□	△
		西側境界平面直角座標	輪郭線 (図郭線) 内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	△
		東側境界平面直角座標	輪郭線 (図郭線) 内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	△

	北側境界 平面直角 座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN -MINUS)	11	<input type="checkbox"/>	△
	南側境界 平面直角 座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN -MINUS)	11	<input type="checkbox"/>	△
測量 情報	測量区分	本要領に規定する「測量区分」（先行調査で固定）を記入する。	全角文字 半角英数字	32	▲	◎
	先行調査細区分	本要領に規定する「先行調査細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	◎
	先行調査記録フォルダパス名	先行調査記録のフォルダパス名を記入する。 (SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	<input type="checkbox"/>	△
	先行調査成果フォルダパス名	先行調査成果のフォルダパス名を記入する。 (SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	<input type="checkbox"/>	△
	その他データフォルダパス名	各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。 (SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。 (※測量区域番号に記されたものの中から選択する。 DTD 文法上改名)	半角数字	2	<input type="checkbox"/>	◎
	精度	先行調査成果の精度を記入する。	半角数字	1	<input type="checkbox"/>	◎
	新規修正区分	対象先行調査の新規先行調査か修正先行調査かの区分を記入する。	半角数字	1	<input type="checkbox"/>	△
	面積	先行調査範囲の概略の面積を記入する。単位：k m ²	半角数字	6	<input type="checkbox"/>	◎
	外周距離	先行調査範囲の外周距離の概数単位：km	半角数字	6	<input type="checkbox"/>	△
	点数	基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)	半角数字	4	<input type="checkbox"/>	△
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△
ソフトメーカー用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 ：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

△：任意記入項目。(情報が分かる場合は必ず記入する。)

【解説】

(1) 「助言番号」(承認番号)

先行調査の場合は「99999999」(8 桁)を記入する。公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院から発行された番号「助言番号(承認番号)」を記入する。文書番号から助言番号(承認番号)への記入方法は表 5-1-1 のとおりとする。

表 5-1-1 略称記号と助言番号（承認番号）の対象表

略称記号	文書番号	名称	略称記号	文書番号	名称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖縄支所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

例) 助言番号（承認番号）

国地道公発第 2 2 6 号

平成 24 年○ 月○ 日

平成 24 年度の北海道地方測量部の助言番号

→ H24A0226

(2) 製品仕様書名または作業規程名

当該先行調査作業の基となった製品仕様書名または作業規程名を記入する。(例: 地籍調査作業規程準則 (改正平成 22 年 10 月 12 日国土交通省令第 48 号))

(3) 第三者機関成果検定の有無

当該業務の第三者機関による成果検定の有無を、次より選択して記入する。

- ・ 第三者機関検定を実施しない場合： 0
- ・ 第三者機関検定を実施する場合： 1

(4) 場所情報（カテゴリ）

本先行調査業務の対象となった先行調査区域の数だけ繰り返して記入する。(例：3 箇所が調査実施対象→3 回繰り返す)

1) 測量区域番号・測量区域名称

先行調査区域が複数にわたる場合、実際に先行調査を行った区域毎に区域番号を割当ててのものとする。割当てられた先行調査区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。

2) 区域情報

区域情報については、「境界座標」、「平面直角座標値」のいずれかを用いて記入する。区域情報の記入にあたっては、上記 2 項目のうち「平面直角座標」による記入が最も望ましい。緯度経度もしくは平面直角座標のいずれか、または双方を記入する。また、平面直角座標系の系番号を記入する際は、半角数字 2 桁以内で 1~17 の番号を記入する。

(5) 測量情報（カテゴリ）

本先行調査業務で行われた先行調査種類を「先行調査細区分」の単位（先行調査実施場所が異なる場合は別物とする）で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

1) 測量区分

測量区分の名称は「先行調査」を記入する。サブフォルダ名は「TISEKI」である。

2) 先行調査細区分

先行調査細区分の名称は、下記の例に示すように細区分を示す英数字を付した名称を記入する。(4.2 先行調査フォルダ構成を参照のこと)

先行調査細区分は、先行調査区域及び精度で区分するもので、末尾の英数字は A～Z, 1～9 の順に使用することとして、該当する先行調査細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例：複数区域 (A, B) および複数精度 (甲 1、甲 2) が混在する場合、地区を優先とする。

CPRPC_A A 地区の甲 1
 CPRPC_B A 地区の甲 2
 CPROC_C B 地区の甲 1
 CPROC_D B 地区の甲 2

3) 先行調査記録フォルダパス名・先行調査成果フォルダパス名

先行調査成果が納められた測量記録フォルダ及び測量成果フォルダ以下のフォルダのパス名を記入する。当該先行調査の成果が中間成果であって成果フォルダに格納されていない場合には記入しない。記入方法は以下に従う。

- ① フォルダ階層表示は「/」で区切る。
- ② パスの書出しは「SURVEY」とする。
- ③ 測量区分のサブフォルダのパス名は「TISEKI」とする。
- ④ 記録区分のサブフォルダのパス名は「WORK」、
成果区分のサブフォルダのパス名は「DATA」とする。
- ⑤ 細区分のサブフォルダパス名は、(例)「CPROC_A」とする。

※例 「SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC_A」、「SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC_A」

4) 精度

先行調査の「精度」を必ず記入する。

ただし、地籍図根三角測量など精度が記入できない場合は「0」を記入する。精度の記入方法は表 5-1-2 のとおりとする。

表 5-1-2 精度表

先行調査精度	記入コード
甲 1	1
甲 2	2
甲 3	3

5) 新規修正区分

先行調査を新規に実施地区の場合「1」、再調査をする場合「2」を記入する。

6) 面積

先行調査の対象範囲の概略面積（実施数量）を記入する。（単位はkm²）。

7) 外周距離

先行調査範囲の概算距離を記入する。（単位はkm）

8) 点数

当該基準点の点数を記入する。（与点の数は除く）

5.2 先行調査成果管理項目

成果品の電子媒体に格納する先行調査成果管理ファイル（SURV_TSK.XML）に記入する先行調査成果管理項目は、表 5-2 に示すとおりである。

表 5-2 先行調査成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
先行調査成果情報	先行調査区分フォルダ名	「先行調査区分」のフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）(TISEKI で固定)	半角英数 大文字	6 固定	▲	◎
	先行調査成果区分フォルダ名	先行調査成果区別（測量記録、成果データ）のフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	半角英数 大文字	5	□	◎
	先行調査細区分フォルダ名	表 4-2 で定義されたフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	半角英数 大文字	8	□	△
	先行調査成果名称	表 6-3 で定義された先行調査成果の名称を記入する（例：精度管理表、観測手簿等）	全角文字 半角英数字	64	□	◎
	先行調査成果ファイル形式	表 6-3 で定義された先行調査調査成果ファイルの記録形式を記入する。	半角英数字	12	□	◎
	先行調査成果レコードフォーマット	先行調査成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△
	先行調査成果作成ソフトウェア名	先行調査成果を作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△
	イ 成果情報 ファ	先行調査成果ファイル名	表 6-3 で定義された先行調査成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数 大文字	13	□
先行調査成果ファイル名副題		内容が分かる程度の副題を記入する	全角文字 半角英数字	64	□	△
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。（複数記入可能）	全角文字 半角英数字	127	□	△
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。（複数記入可）	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

△：任意記入項目。（情報が分かる場合は必ず記入する。）

【解説】

(1) 先行調査成果情報（カテゴリ）

格納されている成果の種類の数だけ繰り返し記入する。また、項目名の成果ファイル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。

(2) 先行調査区分フォルダ名

先行調査区分のフォルダ名「TISEKI」を記入する。

(3) 先行調査成果区分フォルダ名

先行調査の成果区分の以下のサブフォルダ名を記入する

- ① 「WORK」・・・ 成果品を作成する過程の記録を格納する。
 - ② 「DATA」・・・最終成果品を格納する。
 - ③ 「OTHRs」・・・ 証明書、説明書等を格納する。
- (4) 先行調査細区分フォルダ名
細区分名称は表 4-2 先行調査フォルダ構成に示す記録サブフォルダ名を記入する。
先行調査の作業を区分けせず 1 つのサブフォルダで作成する場合は、「CPROC_A」、複数地区、複数精度区分の測量作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。
- (5) 先行調査成果名称
先行調査成果の名称（表 6-3 を参照）を記入する。
- (6) 先行調査成果ファイル形式・先行調査成果レコードフォーマット
先行調査成果ファイル形式（表 6-3 を参照）を記入する。先行調査成果レコードフォーマットの名称または準拠した仕様等の説明を記入する。
『測量成果ファイル形式』: 「PDF」「TXT」「DOC」等通常はファイルの拡張子を記入する。
『測量成果レコードフォーマット』: 特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略することができる。
- (7) 先行調査成果ファイル名
ファイル命名規則に従って付けた成果のファイル名を記入する。（拡張子含む）
- (8) 先行調査成果ファイル名副題
成果ファイル個々について利用上副題をつけて管理することが望ましいものについて、成果の内容がわかる記述を行う。具体的な内容は受発注者間の協議により定める。

6 ファイル形式及びファイル命名規則

6.1 先行調査成果ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

(1) 業務管理ファイル及び各成果管理ファイル

業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び測量成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。

(2) 測量成果等

測量成果等のデータファイルの形式は、「6.3 先行調査成果ファイル」に示すとおりとする。

(3) スタイルシート

管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合は XSL に準ずる。

【解説】

- ・本要領「4 フォルダ構成」解説に示したように、業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び先行調査成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。
- ・先行調査成果等のファイル形式は、「6.3 先行調査成果ファイル」において『表 6-3(a) C 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則』から、『表 6-3(i) その他資料等のファイル形式・ファイル命名規則』に示される形式で納品する。
- ・各管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、各管理ファイルと同じ場所に格納する。

6.2 先行調査成果ファイル命名規則

ファイル名、拡張子は半角英数大文字とし、以下の各項目に従うものとする。

(1) 管理ファイル等

- 1) 測量情報管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、測量情報管理ファイルの DTD は「TSUR_Dnn.DTD」(nn はバージョン番号を表す) とする。
- 2) 測量成果管理ファイルは、「SURV_TSK.XML」とする。先行調査成果管理ファイルの DTD は「TISK_Dnn.DTD」(nn はバージョン番号を表す) とする。
- 3) 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、「TSUR_Dnn.XSL」、「TISK_Dnn.XSL」(nn はバージョン番号を表す) とする。

(2) 測量成果等

先行調査成果等のファイル名は、以下の規則を原則とし、図 6-1 に従うものとする。

- 1) 図 6-1 の「○○○」部分には、先行調査細区分毎に設定した記号(表 6-1 参照)を入れる。表 6-1 の先行調査細区分の記号の 3 文字目が「*」表現となっている部分は、通常「A」を入れる。複数地区や複数精度の場合、「B, C…Z, 1, …, 9」を入れる順次使用する。
- 2) 図 6-1 の「▲▲」部分には、先行調査成果の種類を表す名称(表 6-3 参照)を入れる。先頭の▲には表 6-2 の設定記号を使い、後ろの▲にはその先行調査細区分内の連番を割当てる。
- 3) 図 6-1 の「n n n」部分には、同一成果のファイル内で割り振った(001~999)連番を入れる。

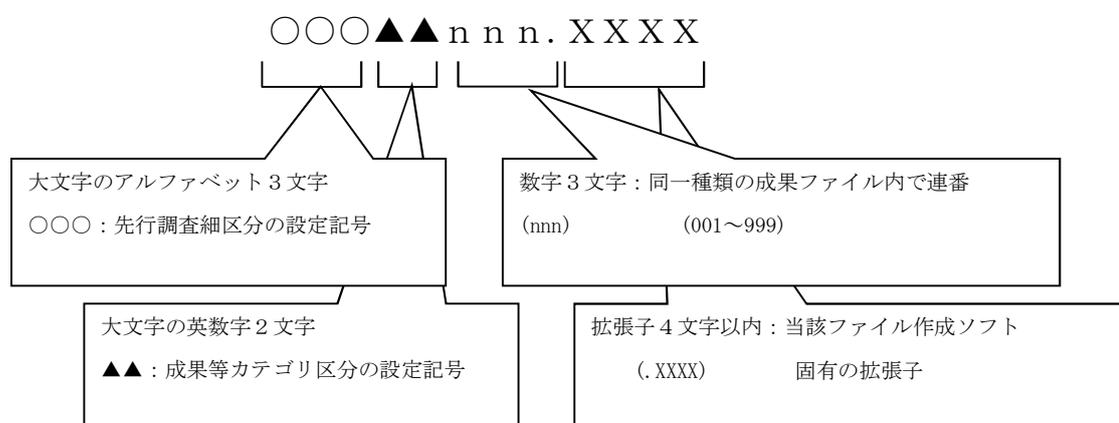


図 6-1 先行調査成果ファイルの命名規則

注) ファイル名は、半角英数大文字で記述することを原則とする。ファイル名に使用できる文字は、半角(1 バイト文字)で大文字のアルファベット「A~Z」、数字「0~9」、アンダースコア「_」のみとする。

表 6-1 先行調査細区分記号一覧

先行調査細区分	設定記号
地籍図根三角測量	TC*
地籍図根多角測量	TD*
先行筆界点調査	TE*
細部図根測量	TF*
先行筆界点測量及び 街区調査図原図の作成	TF*
街区面積測定	TG*
街区調査図及び街区整理簿の作 成	TH*
現況測量・復元測量	TR*

表 6-2 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果のカテゴリ	成果等の名称	DATA WORK 区分	設定記号
点の成果	基準点等成果簿（写）	WORK	A
	成果表、成果簿、先行筆界点成果簿	DATA	
面の成果	地籍境界調査票、街区面積測定成果簿、街区整理簿	DATA	B
点の記	選点手簿、既知点点の記	WORK	C
手簿・記簿	観測記録簿、観測手簿、観測記簿等	WORK	D
計算簿類	距離補正計算書、偏心補正計算簿、点検計算簿、網平均計算簿、点検測量簿、座標計算書、与点の点検簿等	WORK	E
網図・一覧図類	選点図、平均図、観測図、点検計算路線図、精度管理表附図、調査図素図、調査図素図一覧図、現況測量図、復元測量図等	WORK	F
	網図、配置図、先行筆界点番号図、街区調査図、街区調査図一覧図、街区調査明細図、現況重ね図	DATA	
精度管理表	精度管理表（点検測量精度管理表含む）	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、測量標の設置状況写真等	WORK	H
その他	使用機器検定証明書・試験検査成績書、使用プログラム検定証明書、測量成果品検定証明書、ファイル説明書、総括表	OTHR	J
上記カテゴリに属さない成果等	観測スケジュール、受信状況図、建標承諾書及び、表 6-3 に記載されていない成果等	WORK	Z
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS

6.3 先行調査成果ファイル

先行調査の成果は、表 6-3 に示されるファイル形式、ファイル命名規則によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする。

表 6-3(a) C 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
地籍図根三 角測量 <TC*>	基準点成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係 数等の計算 書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	地籍図根三角点選点手簿	PDF	C2	WORK	
	基準点現況調査報告書	PDF	H1	WORK	
	地籍図根三角点選点図	PDF	F1	WORK	
	地籍図根三角測量平均図	PDF	F2	WORK	
	地籍図根三角測量観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて 基線解析 図含む。
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA ・ SIMA 又は、RINEX フォーマッ ト
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正 計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	偏心補正計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算簿	PDF	E3	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E4	WORK	
	点検測量簿	PDF	E5	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（=カーテン情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精 度管理表含 む
	精度管理表附図	PDF	F5	WORK	
地籍図根三角点成果簿	PDF	A2	DATA		
地籍図根三角点網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式 でも可	

	測量標の設置状況写真	PDF 又は JPEG	H2	WORK	
--	------------	-------------------	----	------	--

表 6-3(b) D 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
地籍図根多 角測量 <TD*>	基準点成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係 数等の計算 書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	地籍図根多角点選点図	PDF	F1	WORK	
	地籍図根多角測量平均図	PDF	F2	WORK	
	地籍図根多角測量観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて 基線解析 図含む
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA ・ SIMA 又は、RINEX フォーマッ ト
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正 計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	偏心補正計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算簿	PDF	E3	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E4	WORK	
	点検測量簿	PDF	E5	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（＝カーテン情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精 度管理表含 む
	精度管理表附図	PDF	F5	WORK	
	地籍図根多角点成果簿	PDF	A2	DATA	
	地籍図根多角点網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式 でも可
測量標の設置状況写真	PDF 又は JPEG	H1	WORK		

表 6-3(c) E' 工程成果のファイル形式

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
先行筆界点 調査 <TE*>	調査図素図	PDF	F1	WORK	CAD データでも 可
	調査図一覧図	PDF	F2	WORK	
	地籍境界調査票（立会押印後）	PDF	B1	DATA	委任状等含 む
	調査図	PDF	F3	DATA	
	公図及びその他関連資料	PDF	Z1	WORK	登記簿要約 書、地積測量 図等 必要に応じ、 地図 XML デー タも格納

表 6-3(d) F' I 工程成果のファイル形式

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
細部図根測 量 <TF*>	基準点等成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係 数等の計算 書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	細部図根点選点図	PDF	F1	WORK	
	細部図根測量平均図	PDF	F2	WORK	
	細部図根測量観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じ て基線解析 図含む
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA ・ SIMA 又は、RINEX フォーマッ ト
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正 計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	点検計算簿	PDF	E2	WORK	手簿・記簿
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	座標計算書	PDF	E3	WORK	
	セット間較差の点検及び座標 計算書	PDF	E4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E5	WORK	
	点検測量簿	PDF	E6	WORK	手簿・記簿
受信状況図（=カーテン情報）	PDF	Z1	WORK		

	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管理表含む。
	与点の点検簿	PDF	E7	WORK	
	精度管理表附図	PDF	F5	WORK	
	細部図根点成果簿	PDF	A2	DATA	
	細部図根点網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他のCAD形式でも可
	細部図根点配置図	SXF 及び PDF	F7	DATA	他のCAD形式でも可
	測量標の設置状況写真	PDF 又は JPEG	H1	WORK	

表 6-3(e) F' II 工程成果のファイル形式

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
先行筆界点 測量及び街 区調査図原 図の作成 <TF*>	基準点等成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等の計算書含む
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF	D2	WORK	
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	点検計算簿	PDF	E2	WORK	
	座標計算書	PDF	E3	WORK	
	セット間較差の点検及び座標計算書	PDF	E4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E5	WORK	
	受信状況図（=カーテン情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	与点の点検簿	PDF	E6	WORK	
	先行筆界点成果簿	PDF	A2	DATA	
先行筆界点番号図	SXF 及び PDF	F1	DATA	他のCADデータでも可	

	街区調査図原図	SXF 及び PDF	F2	DATA	他のCADデータでも可
	街区調査明細図	SXF 及び PDF	F3	DATA	他のCADデータでも可
	街区調査図一覧図	SXF 及び PDF	F4	DATA	他のCADデータでも可

表 6-3(f) G' 工程成果のファイル形式

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
街区面積 測定 <TG*>	街区面積測定観測計算簿	PDF	E1	WORK	
	街区面積測定精度管理表	PDF	G1	WORK	
	街区面積測定成果簿	PDF	B1	DATA	

表 6-3(g) H' 工程成果のファイル形式

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
街区調査図 及び街区整 理簿の作成 <TH*>	街区整理簿	PDF	B1	DATA	

表 6-3(h) FR 工程成果のファイル形式

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
現況測量・ 復元測量 <TR*>	現況測量図	SXF	F1	WORK	他のCADデータでも可
	観測手簿	PDF	D1	WORK	
	変換計算簿	PDF	E1	WORK	
	逆打計算簿	PDF	E2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	復元測量図	SXF	F2	WORK	他のCADデータでも可
	現況重ね図	SXF 及び PDF	F3	DATA	他のCADデータでも可

表 6-3(i) その他資料等のファイル形式・ファイル命名規則

先行調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
その他 <TOT>	使用機器検定証明書 試験検査成績書	PDF	J1	OTHR	
	使用プログラム検定証明書	PDF	J2	OTHR	
	検査成績表	PDF	J3	OTHR	
	ファイル説明書	PDF	J4	OTHR	
	測量成果品検定証明書	PDF	J5	OTHR	
	地籍測量総括表	PDF	J6	OTHR	

注・ファイル説明書

電子媒体の全体のフォルダ構成、格納場所を記録すること。

(※) ファイル形式の補足説明

(*1)XML eXtensible Markup Language(拡張型構造化記述言語)

文字列をタグと呼ばれるく >で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文書中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

(*2)DTD Document Type Definitions(文書型定義)

XML 文書を構成する要素が現れる場所、順序、出現回数などの文書構造を定義する仕組みである。

(*3)XSL eXtensible Stylesheet Language(エクセスエスエル)

XML 文書の書式(体裁)を指定するスタイルシートを提供する仕様であり、「標準仕様書 TSX0088:2006 拡張可能なスタイルシート(XSL) 1.1」、「JIS X 4169:2007XSL 交換(XSLT) 1.0」の規格である。

(*4)PDF Portable Document Format(ピーディーエフ)

米 Adobe Systems Incorporated が開発したドキュメント・ビューア・ソフト Acrobat で、表示・印刷できるファイル形式である。Acrobat は、ドキュメントを作成した環境と別の環境(異なる機種、OS)との間におけるドキュメント交換を可能にするものである。

(*5)SXF Scadec data eXchange Format(エスエックスエフ)

(財)日本建設情報総合センター(JACIC)が組織した、CAD データ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)により策定された、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。ISO10303/TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。SXF の物理ファイルには、国際標準に則った

p21(Part21)形式、国内 CAD データ交換のための sfc 形式 2 種類がある。

本要領案で記述しているファイル形式の SXF とは、CAD データの納品フォーマットを国際標準に則った Part21 形式のことである。

(*6) JPEG Joint Photographic Experts Group (ジェイペグ)

扱われる静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつ。またはそれをつくった組織 (ISO/IEC JTC 1/SC 29/WG 1、Joint Photographic Experts Group) の略称。

(*7) APA・SIMA

APA フォーマットとも呼ばれており、現場システムと事務所システム間で座標データ、測量観測 (対回) データを交換する際の通信方法とその内容を (財) 日本測量調査技術協会 (APA) が定め、平成 11 年に (社) 日本測量機器工業会へ管理が移管されている。近年、このデータ形式をそのまま利用し、通信ではなくファイルに保管してやり取りされることも多くなってきている。

(*8) RINEX

一般に GPS 受信機は機種が異なると観測データの記録形式や内容が異なるために相互にデータを交換して解析することが困難です。そこで考えだされたのが RINEX であり、RINEX とは、異なる GPS 受信機で観測された GPS データを相互に交換するための標準フォーマットのことである。

【運用基準】

(各成果共通事項)

- 1) ファイルは、1 ファイル 100 枚単位または成果種別毎に作成し、図の成果ファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 表 6-3(a)～(h)に記載されていない測量記録、資料等は各工程毎に所定の方法により当該工程 WORK フォルダに格納する。

(地籍図根三角測量)

- 1) 基準点成果簿 (写)・既知点点の記・地籍図根三角點選点手簿・基準点現況調査報告書・地籍図根三角點選点図・地籍図根三角測量平均図・地籍図根三角測量観測図・観測記録簿・観測記簿 (高度角補正計算書含む)・距離補正計算書・偏心補正計算簿・点検計算簿・点検計算路線図・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図 (=カーテン情報)・観測スケジュール・精度管理表 (点検測量精度管理表含む)・精度管理表附图・地籍図根三角点成果簿は、PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。
例：TCAD2001.PDF～TCAD2010.PDF、TCAD2011. 拡張子～TCAD2020. 拡張子
- 3) 地籍図根三角点網図は、SXF (p21) 及び PDF で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF (p21) 形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。
例：TCAF6001.P21～TCAF6010.P21、TCAF6011.PDF～TCAF6020.PDF
- 4) 測量標の設置状況写真は、JPEG 又は PDF 形式で納品する。

- 5) 表 6-3(a)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TC*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地籍図根多角測量)

- 1) 基準点成果簿(写)・既知点点の記・地籍図根多角点選点図・地籍図根多角測量平均図・地籍図根多角測量観測図・観測記録簿・観測記簿(高度角補正計算書含む)・距離補正計算書・偏心補正計算簿・点検計算簿・点検計算路線図・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図(=カーテン情報)・観測スケジュール・精度管理表(点検測量精度管理表含む)・精度管理表附図・地籍図根多角点成果簿は PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。
例：TDAD2001.PDF～TDAD2010.PDF、TDAD2011. 拡張子～TDAD2020. 拡張子
- 3) 地籍図根多角点網図は、SXF(p21)及びPDF形式で納品する。また受発注者間の協議により他のCAD形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他のCAD形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF形式を連番にて付与する。
例：TDAF6001.P21～TDAF6010.P21、TDAF6011.PDF～TDAF6020.PDF
- 4) 測量標の設置状況写真は、JPEG又はPDF形式で納品する。
- 5) 表 6-3(b)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TD*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(先行筆界点調査)

- 1) 調査図素図・調査図一覧図・地籍境界調査票(立会押印後)・調査図・公図及びその他の関連資料は PDF 形式で納品する。必要に応じ、地図 XML データも格納できるものとする。
- 2) 表 6-3(c)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TE*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(細部図根測量)

- 1) 基準点等成果簿(写)・既知点点の記・細部図根点選点図・細部図根測量平均図・細部図根測量観測図・観測記録簿・観測記簿(高度角補正計算書含む)・距離補正計算書・点検計算簿・点検計算路線図・座標計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図(=カーテン情報)・観測スケジュール・精度管理表(点検測量精度管理表含む)・与点の点検簿・精度管理表附図・細部図根点成果簿は、PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：TFAD2001. PDF～TFAD2010. PDF、TFAD2011. 拡張子～TFAD2020. 拡張子

- 3) 細部図根点網図・細部図根点配置図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF (p21) 形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。

例：TFAF6001. P21～TFAF6010. P21、TFAF6011. PDF～TFAF6020. PDF

- 4) 測量標の設置状況写真は、JPEG 又は PDF 形式で納品する。ただし、地籍図根多角測量を省略した場合において、地籍図根多角点に準じた標識を設置した一次の細部多角点に限る。
- 5) 表 6-3 (d) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(先行筆界点測量及び街区調査図原図の作成)

- 1) 基準点等成果簿(写)・観測記録簿・観測手簿・観測記簿(高度角補正計算書含む)・距離補正計算書・点検計算簿・座標計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・網平均計算簿・受信状況図(=カーテン情報)・観測スケジュール・与点の点検簿・先行筆界点成果簿・精度管理表は PDF 形式で納品する。
- 2) 先行筆界点番号図・街区調査図原図・街区調査明細図・街区調査図一覧図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF (p21) 形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。

例：TFAF1001. P21～TFAF1010. P21、TFAF1011. PDF～TFAF1020. PDF

- 3) 表 6-3 (e) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(街区面積測定)

- 1) 街区面積測定観測計算簿・街区面積測定精度管理表・街区面積測定成果簿は PDF 形式で納品する。
- 2) 表 6-3 (f) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TG*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(街区調査図及び街区整理簿の作成)

- 1) 街区整理簿は PDF 形式で納品する。

(現況測量・復元測量)

- 1) 現況測量図・復元測量図は、SXF (p21) 形式で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。
- 2) 観測手簿・変換計算簿・逆打計算簿・精度管理表は PDF 形式で納品する。
- 3) 現況重ね図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により他

の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。

例：TRAF3001.P21～TRAF3010.P21、TRAF3011.PDF～TRAF3020.PDF

- 4) 表 6-3 (h) に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TR*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

【留意事項】

①各成果品のデータ作成については、利用方法により以下の形式で作成する。

(1) PDF 形式

納品後の主たる利用方法が閲覧である成果は PDF 形式とする。

PDF 形式のファイルを主として以下のいずれかの方法で作成する。

1) アナログ資料のスキャニング

元資料が手書き資料・検符済み等の紙媒体である場合は、スキャニングにより電子化し、PDF 形式で保存する。スキャニングの解像度は 200dpi 以上、白黒 2 値をを標準とし、文字が識別できるものとする。ただし、図面については白黒の場合は白黒 2 値、色があるものについてはフルカラーを原則とする。

尺度が図中に記載されていない場合、また表記されている尺度とスキャニングの尺度が異なる場合は、図中にスキャニング時の尺度を明記すること。

2) オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフトウェアやワープロ、表計算ソフトウェアで作成した成果品については、印刷機能などにより Acrobat 等を利用して PDF に変換することを原則とする。

(2) CAD 形式

網図等の成果は、受発注者間の協議により SXF(P21)以外の CAD 形式とすることができる。納品する CAD 形式の使用については受発注者間の協議により決定し、必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成の上、成果品データと併せて納品する。納品する CAD 形式については、CAD における標準フォーマットが規定されるまで、受発注者間で十分協議し、CAD のフォーマットを決めること。

(3) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ、表計算ソフトを利用して作成されている成果については、受発注者間の協議によりファイル形式を特定の上、オリジナルのファイル形式とすることができる。オリジナル形式で納品する場合は、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成し、成果品データと併せて納品する。

(4) その他の形式

関係団体が推奨しているファイル形式とする場合は、ファイル形式を特定の上、作成することができる。ただし、下記に記載するファイル形式のほか、可能な限り汎用性のあるファイル形式とする。

例) ・ TS 観測手簿における APA-SIMA

(日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会)

・ GPS 観測手簿における RINEX

②既存地図を利用する時のファイル作成時における注意事項

既存地図を測量成果に使用した場合は、ファイル説明書に出所を明記すること。
例)「国土地理院発行の1/25,000の地形図を地籍図根測量の選点図に一部使用した」

7 その他留意事項

7.1 電子納品の対象外となる成果等

先行調査成果のうち、電子化が困難な以下の成果は電子納品の「対象外」とする。

例) 電子化が困難なもの

- ・ネガフィルム
- ・密着印画

7.2 測地系

本要領で扱う測地系は、世界測地系とする。

【解説】

測量法改正(平成13年6月20日)によって、平成14年4月1日から測量法に従って行われる先行調査の測量は、新しい測地系(世界測地系)に準拠して行うこととなった。

このため、先行調査の成果の電子納品に適用される本要領では、新しい測地系(世界測地系)に準拠した先行調査成果の納品を義務付けるものである。

付属資料 1

1-1 測量情報管理ファイルの DTD 例 (ファイル名: TSUR_Dnn.DTD) nn は版情報

```
<!--TSUR_D01.DTD /2013/04-->
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報,場所情報+,測量情報+,その他?,ソフトメーカー用TAG*)>
<!ATTLIST SURVEY DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!-- ***** -->
<!--          基礎情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準,助言番号,製品仕様書名または作業規程名,第三者機関成果検定の有無,先行調査
成果格納用フォルダ名,ドキュメント格納用フォルダ名)>

<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 製品仕様書名または作業規程名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 第三者機関成果検定の有無 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--          場所情報          -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号,測量区域名,区域情報)>

<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
<!--*****-->
<!--          区域情報          -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?,東側境界座標経度?,北側境界座標緯度?,南側境界座標緯度?,平面直角座標
系?,西側境界平面直角座標?,東側境界平面直角座標?,北側境界平面直角座標?,南側境界平面直角座標?)>

<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
```

<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 平面直角座標系 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 西側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 東側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 北側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
 <!-- 測量情報 -->
 <!-- ***** -->
 <!ELEMENT 測量情報 (測量区分, 先行調査細区分, 先行調査記録フォルダパス名?, 先行調査成果フォルダパス名?, その他データフォルダパス名, 測量区域No, 精度, 新規修正区分?, 面積, 外周距離?, 点数?)>

<!ELEMENT 測量区分 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 先行調査細区分 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 先行調査記録フォルダパス名 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 先行調査成果フォルダパス名 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT その他データフォルダパス名 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 測量区域No (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 精度 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 新規修正区分 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 面積 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 外周距離 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
 <!-- その他 -->
 <!-- ***** -->
 <!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
 <!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>

1-2 先行調査成果管理ファイルの DTD 例 (ファイル名: TISK_Dnn.DTD) nn は版情報)

```
<!-- TISK_D01.DTD /2013/04-->
<!ELEMENT SURV_DATA (先行調査成果情報+, その他?, ソフトメーカー用TAG?)>
<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!-- ***** -->
<!--          先行調査成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 先行調査成果情報 (先行調査区分フォルダ名, 先行調査成果区分フォルダ名, 先行調査細区分フォルダ名?, 先行調査成果名称, 先行調査成果ファイル形式, 先行調査成果レコードフォーマット?, 先行調査成果作成ソフトウェア名?, 成果ファイル情報+)>

<!ELEMENT 先行調査区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果レコードフォーマット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          成果ファイル情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 成果ファイル情報 (先行調査成果ファイル名, 先行調査成果ファイル名副題?)>
<!ELEMENT 先行調査成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 先行調査成果ファイル名副題 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>
```

付属資料 2

2-1 測量情報管理ファイルの XML 例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURVEY SYSTEM "TSUR_D01.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="TSUR_D01.XSL"?>
<SURVEY DTD_version="01">
  <基礎情報>
    <適用要領基準>先行 201704-01</適用要領基準>
    <助言番号>99999999</助言番号>
    <製品仕様書名または作業規程名>地籍調査作業規程準則及び同運用基準</製品仕様書名または作業規程名>
    <第三者機関成果検定の有無>1</第三者機関成果検定の有無>
    <先行調査成果格納用フォルダ名>TISEKI</先行調査成果格納用フォルダ名>
    <ドキュメント格納用フォルダ名>DOC</ドキュメント格納用フォルダ名>
  </基礎情報>
  <場所情報>
    <測量区域番号>1</測量区域番号>
    <測量区域名>〇〇区の一部地区</測量区域名>
    <区域情報>
      <西側境界座標経度></西側境界座標経度>
      <東側境界座標経度></東側境界座標経度>
      <北側境界座標緯度></北側境界座標緯度>
      <南側境界座標緯度></南側境界座標緯度>
      <平面直角座標系>7</平面直角座標系>
      <西側境界平面直角座標>86000</西側境界平面直角座標>
      <東側境界平面直角座標>87600</東側境界平面直角座標>
      <北側境界平面直角座標>-184200</北側境界平面直角座標>
      <南側境界平面直角座標>-186000</南側境界平面直角座標>
    </区域情報>
  </場所情報>
  <測量情報>
    <測量区分>先行調査</測量区分>
    <先行調査細区分>地籍図根三角測量 A</先行調査細区分>
    <先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC_A</先行調査記録フォルダパス名>
    <先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
    <その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
    <測量区域 No>1</測量区域 No>
    <精度>0</精度>
    <新規修正区分>1</新規修正区分>
    <面積>0.08</面積>
    <外周距離>2.8</外周距離>
```

<点数>5</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>地籍図根多角測量 A</先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/DPROC_A</先行調査記録フォルダパス名>
<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/DPROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHS</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1</精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数>541</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>先行筆界点調査 A</先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/EPROC_A</先行調査記録フォルダパス名>
<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/EPROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHS</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1</精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数></点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>細部図根測量 A</先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F1PROC_A</先行調査記録フォルダパス名>
<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F1PROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHS</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1</精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数>5401</点数>
</測量情報>
<測量情報>

<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>筆界点測量及び街区調査図の作成 A</先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F2PROC_A</先行調査記録フォルダパス名>
<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F2PROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1/精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数>13401</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>街区面積測定 A</先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/GPROC_A</先行調査記録フォルダパス名>
<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/GPROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1/精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数></点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>街区調査図及び街区整理簿の作成 A </先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名></先行調査記録フォルダパス名>
<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/HPROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1/精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数></点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>先行調査</測量区分>
<先行調査細区分>現況・復元測量 A</先行調査細区分>
<先行調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/FRPROC_A</先行調査記録フォルダパス名>

<先行調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/FRPROC_A</先行調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1</精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数></点数>
</測量情報>
<その他>
<受注者説明文></受注者説明文>
<予備></予備>
</その他>
<ソフトメーカー用 TAG><http://www.abcdefghijk.co.jp></ソフトメーカー用 TAG>
<ソフトメーカー用 TAG>株式会社〇〇〇〇〇</ソフトメーカー用 TAG>
</SURVEY>

2-2 先行調査成果管理ファイルのXML例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="TISK_D01.XSL"?>
<!DOCTYPE SURV_DATA SYSTEM "TISK_D01.DTD">
<SURV_DATA DTD_version="01">
  <調査成果情報>
    <先行調査区分フォルダ名>TISEKI</先行調査区分フォルダ名>
    <先行調査成果区分フォルダ名>WORK</先行調査成果区分フォルダ名>
    <先行調査細区分フォルダ名>FRPROC_A</先行調査細区分フォルダ名>
    <先行調査成果名称>現況測量図</先行調査成果名称>
    <先行調査成果ファイル形式>p21</先行調査成果ファイル形式>
    <先行調査成果レコードフォーマット></先行調査成果レコードフォーマット>
    <先行調査成果作成ソフトウェア名></先行調査成果作成ソフトウェア名>
    <成果ファイル情報>
      <先行調査成果ファイル名>TRAF1001.P21</先行調査成果ファイル名>
      <先行調査成果ファイル名副題>現況測量図</先行調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </先行調査成果情報>
  <先行調査成果情報>
    <先行調査区分フォルダ名>TISEKI</先行調査区分フォルダ名>
    <先行調査成果区分フォルダ名>DATA</先行調査成果区分フォルダ名>
    <先行調査細区分フォルダ名>FRPROC_A</先行調査細区分フォルダ名>
    <先行調査成果名称>現況重ね図</先行調査成果名称>
    <先行調査成果ファイル形式>p21</先行調査成果ファイル形式>
    <先行調査成果レコードフォーマット></先行調査成果レコードフォーマット>
    <先行調査成果作成ソフトウェア名></先行調査成果作成ソフトウェア名>
    <成果ファイル情報>
      <先行調査成果ファイル名>TRAF3001.P 21</先行調査成果ファイル名>
      <先行調査成果ファイル名副題>現況重ね図</先行調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </先行調査成果情報>
  <先行調査成果情報>
    <先行調査区分フォルダ名>TISEKI</先行調査区分フォルダ名>
    <先行調査成果区分フォルダ名>DATA</先行調査成果区分フォルダ名>
    <先行調査細区分フォルダ名>FRPROC_A</先行調査細区分フォルダ名>
    <先行調査成果名称>現況重ね図</先行調査成果名称>
    <先行調査成果ファイル形式>PDF</先行調査成果ファイル形式>
    <先行調査成果レコードフォーマット></先行調査成果レコードフォーマット>
    <先行調査成果作成ソフトウェア名>Adobe Acrobat 9.0</先行調査成果作成ソフトウェア名>
    <成果ファイル情報>
      <先行調査成果ファイル名>TRAF3002.PDF</先行調査成果ファイル名>
      <先行調査成果ファイル名副題>現況重ね図</先行調査成果ファイル名副題>
```

</成果ファイル情報>
</先行調査成果情報>
<その他>
 <受注者説明文></受注者説明文>
 <予備></予備>
</その他>
<ソフトメーカー用 TAG><http://www.abcdefghijk.co.jp></ソフトメーカー用 TAG>
<ソフトメーカー用 TAG>株式会社〇〇〇〇〇</ソフトメーカー用 TAG>
</SURV_DATA>